

各地区業況アンケート結果（2020年8月調査分）

（2020年8月21日）

全国鉄鋼販売業連合会

8月20日締切で、当会役員141名に対しこのアンケートを行ったところ69名の回答があり（回答率48.9%）その結果が下記のとおりまとまりましたのでご報告致します。なお、本結果は鉄流懇など重要会議に資料として提出しています。

※ $DI = (A \times 2 + B \times 1 - D \times 1 - E \times 2) \div \text{総回答数} \times 100$ 、(数は回答実数)

1. 8割弱の企業が前年割れ

問1】貴社の7月（先月）総売上数量・総売上金額は、前年同月と比し如何でしたか？（答）

	A. 10%以上増	B. 5%以上増	C. ほぼ横這い	D. 5%以上減	E. 10%以上減	計	前回
売上数量/前年同月比	5	1	10	10	42	68	74
比率	7%	1%	15%	15%	62%	DI-122	DI-105
売上金額/前年同月比	2	1	9	12	45	69	75
比率	3%	1%	13%	18%	65%	DI-141	DI-119

2. 前月に引き続き赤字企業5割

問2】貴社の7月（先月）の鉄鋼部門における企業収益状況は、如何ですか？（答）

	A. 黒字	B. 若干黒字	C. 収支トントン	D. 若干赤字	E. 赤字	計	前回
企業収益状況	6	15	13	21	13	68	75
比率	9%	22%	19%	31%	19%	DI-29	DI-29

3. 全向け先で更に減少傾向

問3】貴社の営業窓口から見て8月（今月）の販売量は、前月に比し如何ですか？（答）

	A. かなり増加	B. やや増加	C. ほぼ横這い	D. やや減少	E. かなり減少	計	DI	前回
公共建設向	1	1	20	19	9	50	-68	-43
民間建設向			20	24	13	57	-88	-70
自動車向		1	13	11	9	34	-82	-98
その他需要家向		1	22	19	11	53	-75	-70
仲間取引			24	18	17	59	-88	-62
計	1	3	99	91	59	253	-81	-67
比率		1%	39%	36%	24%			

4. 秋需も期待できず

問4】貴社における向う9月から11月までの需要動向について貴殿の予測は如何ですか？（答）

	A. 増加	B. 微増	C. ほぼ横ばい	D. 微減	E. 減少	計	前回
短期需要動向予測		12	30	17	9	68	75
比率		18%	44%	25%	13%	DI -34	DI -55

5. 条鋼類の過剰感、若干弱まる

問5】下記主要品種の貴地区市場の需給状況は如何ですか？貴社の取扱品種のみについてご記入ください。(答)

7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	品種別	A	B	C	D	E		8月
DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	需給状況	非常に不足	不足気味	需給均衡	過剰気味	非常に過剰	計	DI
-14	-28	-31	-27	-34	-9	-21	-25	-31	-32	-38	-24	-25	鉄筋用丸鋼	1	1	20	2	1	25	-4
-18	-23	-29	-28	-25	-21	-29	-17	-27	-32	-26	-35	-38	構造用丸鋼	1		17	4	1	23	-17
-18	-20	-10	-12	-6	-15	-12	-6	-17	-26	-23	-25	-23	平角鋼			25	2	1	28	-14
-36	-29	-29	-18	-13	-6	-16	-30	-13	-31	-30	-20	-19	H形鋼		2	22	3		27	-4
-11	-15	-26	-11	-19	-22	-16	-28	-36	-29	-38	-38	-41	コラム			15	5	1	21	-33
-15	-16	-24	-16	-17	-22	-16	-17	-18	-16	-24	-34	-29	小形山形鋼			26	2	1	29	-14
-20	-23	-29	-21	-22	-29	-30	-24	-24	-25	-33	-30	-26	中形山形鋼		2	23	3	1	29	-10
-23	-21	-26	-29	-19	-26	-26	-20	-24	-32	-39	-40	-27	溝形鋼		1	22	4	1	28	-18
-13	-15	-34	-30	-31	-29	-26	-20	-24	-18	-21	-30	-27	軽量形鋼C形			20	5	1	26	-27
-5	-11	-25	-16	-15	-18	-26	-15	-15	-17	-26	-21	-25	軽量形鋼広巾			13	2	1	16	-25
-43	-58	-58	-53	-53	-47	-61	-58	-58	-71	-65	-70	-57	冷延薄板			11	12	1	24	-58
-55	-55	-50	-56	-60	-47	-55	-55	-56	-73	-58	-71	-64	熱延薄板			14	13	1	28	-54
-52	-53	-68	-59	-53	-52	-63	-68	-66	-76	-64	-62	-53	表面処理鋼板			15	10	3	28	-57
-44	-51	-57	-53	-56	-58	-64	-65	-70	-85	-77	-78	-80	酸洗鋼板			11	14	2	27	-67
-50	-48	-47	-51	-50	-48	-56	-51	-49	-64	-61	-71	-46	中板			21	11	3	35	-49
-50	-38	-45	-51	-49	-49	-49	-44	-63	-63	-72	-60	-46	厚板			19	11	3	33	-52
-32	-25	-20	-28	-22	-32	-29	-47	-50	-26	-25	-29	-29	極厚板			13	4	2	19	-42
-19	-13	-29	-27	-21	-23	-25	-18	-20	-32	-21	-33	-26	縞板			20	4	1	25	-24
-30	-18	-31	-30	-28	-27	-28	-32	-30	-39	-38	-45	-36	中径角			21	8	1	30	-33
-16	-10	-25	-15	-19	-5	-18	-20	-20	-24	-27	-21	-22	ガス管黒			24	5	1	30	-23
-17	-11	-22	-16	-17	-5	-17	-21	-20	-27	-27	-23	-29	構造用鋼管			23	3	1	27	-19
-28	-28	-34	-31	-30	-28	-33	-32	-35	-40	-41	-41	-37	計	2	6	395	127	28	558	-31

6. 全体的に需要少なく低調な販売続く

問6】貴社の地域の景況、主力取扱品種の需要動向は如何ですか？地域の特殊事情・需要動向・信用問題などを織り交せて、概況をお知らせください。(答え)

北海道	A	8月の形鋼の荷動きは現在、例年並みに推移しているが、得意先の営業日が少なく、全く期待できない。秋口以降のFAB加工物件が少ないと聞いているためこれから心配である。
	B	丸棒の需給バランスは北海道中央での大型案件が本格的になり、非常にタイトである。各社ともにデリバリーがスムーズに行かず難儀している。しばらく不足が続く。
	C	新型コロナの影響は相変わらず限定的で、出荷量はわずかに減少状態が続いている。先行きは不透明で、秋以降の見積りは少ない。
東北	A	先々いい話題もない。競争も激化。ゼネコンだけに儲けさせてどうするのか。適正な利益確保を願う。
	B	主力の丸棒の出荷量は多かったものの新規物件の受注が少なく、契約残が減少。
	C	メーカー値上げも現状難しく、指値も厳しい。
	D	製造、建設、サービス各種、依然として低調で変わらず。先行きが見えないことから信用問題が取り上げられている。何か明るい材料はないか。
新潟	A	7月の荷動きは更に悪化してしまったが、稼働日数の少ない8月はどうなるか。製造業の一部では、回復の話もあるようで、秋から少しでも需要が改善することに期待する。
	B	現状は、ほぼ予定通り。単価は低位安定と言った感があるが、先行き不透明感がある。
	C	見積り物件が少ない中で、受注競争により価格の転嫁が進まない。適正な利益確保に努めていきたい。
	D	予定している物件がそれなりに出てきたが、量的に少ない。得意先も安定稼働につなげるだけの受注がない。
	E	建築や物流関連機器に若干動きが見られるが、他は盆休み明けに期待するしかない。
	F	需要は相変わらず少ないが、国際情勢や原料事業を考慮するとメーカーが値下げに応じる環境ではない。ユーザーからは値下げ要求されるが、ここを吞んでしまうと後で取り返しがつかなくなりそう。ぐっと我慢して断る勇気をもって望みたい。
	G	7月も製造業の全体的な荷動きは低調。中でも熱延薄板、酸洗鋼板は在庫過多か県外からの売込み旺盛で価格も非常に弱い。冷延鋼板は輸入材も聞こえているが、価格への影響はまだ出ていない。建築需要も地場物件も少なく低調。中小ファブの受注量は徐々に減少している。
神奈川	A	8月はお盆休みだが、稼働日数も減り売上は厳しい月になると思われる。新規案件も急ぎで出てくる雰囲気もないため荷動きも良くないように思われる。
	B	公共建設、民間建設の受注量は、引き続き落ちてきている。工作機械の受注は、少し回復したが、依然見通しは不明な状況。
東京	A	量が売れないので、価格を大切に利益重視で販売していきたい。
	B	需要低迷状態が続いている。7月度の売上数量、販売量ともに前年同月比25%減であった。ここしばらく月次で赤字が続いている。取引先からは未だに訪問は控えるように言われており、電話、メールの営業だけでは与信面が不安である。
	C	4～6月に比べて受注量は微増しているが、取引先の引合い減少を取り戻すほどでは到底ない。仕入先でのコロナウイルス感染の案内も増えてきており、より一層の感染対策、対応が必要と思われる。

東京	D	収支損益計画を大幅に下方修正。流行病の勢いで衰えず、更に米中摩擦の相乗作用で先行き真っ暗である。雇用調整助成金も焼け石に水である。引っ掛からない事、経費を圧縮することに最大注力する。
静岡	A	H、Mグレードの鉄骨ファブの安定感は10月頃の仕事量など云々あったが、余裕の状態で羨ましい限りである。東京五輪延長もさほどダメージはない。コロナ禍の影響は各地方でバラバラではないか。国、都道府県、各地方自治体と経済、予算(税金)、海外情勢など鉄鋼業界(メーカー、流通、ユーザー)のコンセンサスはとれているのだろうか。8月度、何が良くて、何が悪いのか判断がつかない。鉄鋼流通(サービス業)、地方V S中央首都圏においてコロナ禍を理由に交流は稀薄になっていくだろう。メーカー値上げのアナウンスがある。原料コストを第一に上げているが信じがたい。新型コロナの専門家会議V S政府と同じか?新型コロナ関連ほか不良債権はゼロである。
	B	案件の延期、中止で夏休み前までの稼働は低調だったが、休み明け以降は延期案件、公共案件が動き出し、ファブ、一次、二次加工業者ともに繁忙となる見込み。但し、中小案件は少なく、Rクラス以下は厳しい状況。設備案件も秋以降、予定通り出件される事を期待。全般的に倉出し出荷は低調である。
石川		当地の特徴で欠点でもあるが、工作機械関連と某メーカーの建機に偏りが目立っていることである。その業種では全国のトップシェアという企業数が東京、愛知、関西について4番目に多いことになっているが、工作機械関連が多すぎて、他の業種が目立たないのが欠点。したがって、薄板、特殊鋼の量も落ちる。
富山		公共工事(新幹線含む)は安定している。5~6月の販売が半減した鉄工所も散見された。しかし、7~10月は6~8割まで回復するケースもある反面、引き続き半分の量のところもある。鉄骨価格がトン18~20万円に下落する物件により、鋼材価格にも影響が出てきそうである。
岐阜		荷動きがとて悪い。業種別だと産業機械向けが半減している。カバー用の酸洗材の営業に力を注いでいる。安売り業者もあるが、全体量が少ないので、とて追いつかないのではないかと。売上の区分けはしていないが、日々のベースとなる細かい一般鋼材は半分ではないか。加工やその母材でカバーできているうちは良いが、木曜日、金曜日休みにならない様に願う。
大阪		8月に入り、新型コロナウイルス感染が拡大していることが最大の懸念事項。8月は中小物件が少なく、荷動きが悪いうえ稼働日数が少ないため売上は大幅に減少する。価格も荷動きがよくないためメーカーは価格重視である。値上げ分の一部は転嫁できたが、残りの部分の転嫁はかなり厳しい状況である。
岡山		見積り、実際の発注ともに減少。雇用調整金をもらっている鉄工所も多い。水島コンビナート、玉野三井造船の良いニュースは皆無。
香川		7月の動きは非常に悪かった。四国地区は元から鉄骨物件が少なかったうえに新型コロナの影響が本格化してきたといった感じである。8~9月も目立った物件もなく、厳しい荷動きになると思われる。
福岡		造船は下期にかけて建造のピッチダウン対応で下降傾向。9月より建機関連は生産計画を戻す予定だが、足元、生産調整継続中で需要減退。建築も80%稼働でムードは依然として弱含み。8月の店売りマーケットは夏季休暇を長く設定されている先もあり、停滞局面を脱していない状況。
北九州		倉出し出荷に関しては、低位安定。メーカーの値上げを受け、価格転嫁のアドバランは上げるもののイマイチ進まない様子である。